

「桃太郎」シリーズ 40周年

「桃太郎」シリーズは 累計30品種以上

初代「桃太郎」が発売されたのは1985年。「桃太郎」シリーズの誕生から今年で40周年を迎えます。

多くの方々にご愛顧いただきながら、夏秋の「桃太郎8」、冬春の「ハウス桃太郎」、抑制用の「桃太郎ヨーク」など作型に対応した品種を拡充してきました。さらに葉かび病などの耐病性や作りやすさを改良、西南暖地におけるトマト黄化葉巻病の広がりに対応するため、耐病性品種である「桃太郎ピース」や「桃太郎ホープ」を開発しました。

2024年に新発表した冬春栽培用「桃太郎ブライト」と夏秋栽培用の「桃太郎みなみ」は、近年の気候変動への適応力を備えた品種として育成しました。

40年間で発表した「桃太郎」シリーズは、30品種以上を数えます。今後も時代の変化や課題に向き合い、トマトの安定生産、安定供給に貢献できるよう取り組んでまいります。

桃太郎 (1985年)



桃太郎 8 (1993年)



桃太郎ホープ (2017年)



桃太郎みなみ (2024年)

新機軸

「スムカラ」シリーズ誕生！

“黄変果”の発生が少ないトマトシリーズ

「スムカラ」は、“黄変果”の発生が少ないタキイ種苗のトマトシリーズ「スミーズカラー」の略称で、果実全体が安定して均一に着色する特性を備えています。

春～初秋の栽培では温暖化などによる高温や強日照が原因で果実のヘタの周りが黄化する現象、すなわち“黄変果”の発生が増加しています。“黄変果”の発生は秀品率の低下を招き、色が回る前に収穫する場合は正常な果実と区別しにくく、市場流通後に“黄変果”と判明しクレームとなるケースもあります。

「桃太郎ブライト」と「^{ディーツイ}TYフルティカ^{スシ}SC」は「スムカラ」シリーズの品種で、出荷箱などに「スムカラ」のロゴを掲載することで差別化も可能です。生産現場から流通、販売に至るまで、安定出荷に貢献できる「スムカラ」シリーズの拡充に向け引き続き取り組んでまいります。



↑「スムカラ」ロゴ



桃太郎ブライト (2024年)



TYフルティカSC (2025年)

※「スムカラ」はタキイ種苗(株)の登録商標です。